http://www.sagamihara-kng.ed.jp/kyouikunojouhouka_top.html

さがみはらGIGA通信 特別号

令和３年１１月９日　相模原市教育センター　学習情報班　発行

GIGA スクール構想の推進に伴うタブレット PC 等の整備により、義務教育段階の学び方が変わり始めています。本通信では、相模原市立小中学校等が取り組む、新たな学びの姿をレポートしていきます。今回は先生方の研修及び家庭でのオンライン学習についてお伝えします！

▲研修中の様子　多くの学校、教員が参加しました

ステップ		学校の取組内容
ステップ０		**○学習課題の紙面配付**
ステップ１ （9 月 24 日 研修内容）	タブレットＰＣの持ち帰り	**○GoogleClassroom の活用** □各担任等から児童生徒へ課題の送信（Web サイトの URL、オンデマンド動画も含む） □児童生徒は各自で課題を実施し、課題を提出（Chromebook のカメラでノートやプリントを撮影して提出することも含む）＊1 **○ミライシードの活用** □ドリルパークで実施するドリルの提示、宿題の送信 □オクリンクなどでの児童生徒への課題の送信 ＊１を同様に実施 **○GoogleMeet の活用** □朝の会で健康観察等の全体指導（画面で顔を見ながら） □リアルタイムでのオンラインでの授業配信（教員から児童生徒への一方向）
ステップ２		**○GoogleClassroom、ミライシードの活用** □児童生徒の学習状況にフィードバック **○GoogleMeet の活用** □リアルタイムでのオンラインの授業配信（教員と児童生徒の双方向）
ステップ３		**○GoogleMeet の活用** □児童生徒の発言の共有 **○授業支援ソフトの活用** □GoogleJamboard、ミライシード内オクリンク、ムーブノート等を活用した児童生徒同士の課題の共有

▲感染拡大時や災害時等における学習ステップ表

※感染拡大時や災害時等における「オンラインでの授業配信」につきましては、児童生徒の発達段階や教室内の児童生徒への配慮等、実施上の課題があります。そのため、実施に当たっては各学校それぞれの実情に応じて対応しております。

緊急時においても学びを止めない！

ＧＩＧＡスクール構想の推進によって整備された１人１台のタブレットＰＣは、学校での新しい学びを実現し始めました。また、感染拡大や災害時等にオンラインを活用し、家庭と学校を繋ぎ、学習支援を行う取組も始まりました。

現在、本市では、夏休み中の各学校の取組状況を基に、オンラインを活用した学習支援を行うための「ステップ表」を作成し、市内全ての教員のスキルアップをめざしています。

９月２４日には、市立小中学校全校の教員を対象として「ステップ表」に基づいて、教育センター指導主事が講師となり、オンラインで実施しました。本研修では、ステップ１の内容をもとに、家庭と学校との間で課題のやり取りを行うための具体的な方法等について、クラウドサービスの体験なども交え、学ぶことができました。

参加した教員からは「今後、通常の授業や、万が一の際の授業に備える際に役立てたいと感じました。」などの日常的な活用の推進についての感想があり、教員の教育についてのプロとしての知見が、オンライン等の新たな手段とベストミックスされ、通常の授業での活用はもとより、緊急時を含めた、相模原市のＧＩＧＡスクール構想の推進に向けて動き出しています。

◀さがみはらGIGA スクールハンドブックは右の QR コードを読み込むとご覧いただけます。

タブレット PC の持ち帰りを含めた児童生徒のルールづくりのポイント

※(参考)さがみはら GIGA スクールハンドブック P.86

1　発言をする時だけ、マイクをオンにしよう。

2　授業に必要なときのみ、チャット機能を利用しよう。

3　出席確認のときにはカメラをオンにしよう。その後のオンオフは先生の指示に従おう。

4　カメラには、あなたが授業を受けている場所が映り込むことがあるので、授業を受ける場所に少し気を使いましょう。また、クラスメートの部屋の様子について、絶対に話題にしないようにしよう。

5　課題には、他の人の答えを安易にコピーせず自力で取り組もう。

6　授業中は、利用しないコンテンツなど、学習と無関係な Web サイトへアクセスしないようにしよう。

7　画像、動画を撮ったり、音声を録音したりするときには、姿や声が入る人に確認をしているか、関係のない人が映り込んでいないか、などに気をつけよう。

8　友達が作成したデータやインターネットから取り込んだデータは、著作権を確認しよう。

9　学習と関係のないデータをドライブに保存しないようにしよう。また、あなたのドライブのデータを、他のコンピュータに保存したり、インターネットにあげたりしないようにしよう。

10　自分のアカウントの ID は他人には絶対に利用させないようにしよう。

11　パスワードは他人に絶対に知られないよう管理しよう。また、他人に予想されにくいパスワードを設定しよう。

12　明るい場所で正しい姿勢で利用しよう。また、30 分間利用したら、一度画面から目を離して、20 秒以上遠くを見よう。

保護者の皆様へ

～学校と家庭で育てる情報活用能力～

今日の社会では、コンピュータを用いてオンラインで問題解決をすることが当たり前となりました。例えば、職場で資料を作成する際、不明な点をその場で調べ、伝えたい情報をまとめ、相手に送信することがあると思います。ＧＩＧＡスクール構想では、児童生徒がオンラインを活用し、教室内で、同様な問題解決を行うことを目的としています。

一方、フェイクニュースやインターネットにあふれる誹謗中傷など、急速なオンライン化にモラルが追い付かない状況が懸念されており、義務教育段階から、生活に必要なテクノロジーを適切に使うことが、社会全体に求められています。

このことから、本市では緊急時を含むタブレットＰＣ活用のルールについて、左記のもの等を参考に、学校、学年に応じて作成したルールを、児童生徒に伝えるようお願いしています。

また、本市ではタブレット PC を児童生徒がノートなどと同様、学びの道具として日常的に活用していくことを目指しております。そのため、家庭での使用におきまして、次の点にご留意いただくことをお願いいたします。

家庭でのタブレットＰＣの使用について

- 使用ルールを定期的に確認しましょう
- ログインは児童生徒本人が行いましょう
- 充電器は純正品か Type-C が使用可能です
- 通信環境の整備を検討ください

引き続き相模原市立小中学校等では次のようなタブレット PC の活用が行われています！

◀桂北小学校の小学校 2 年生は、かたつむりロボットのプログラミングに取り組みました。

▶上溝南中学校の 2 年生ではタブレット PC で行った小テストが画面を通じて返却され、生徒は問題の正誤に応じて見直しを行いました。